

# 平成31年度運輸安全マネジメントレビュー会議議事録

実施日時	令和2年 3月30日 16:00～17:30
実施場所	本社営業所
参加者	安全統括管理者：代表取締役 渡辺敏也 統括運行管理者：課長 高山和明 運行管理補助者：大森秀樹

## 重点施策について

- ◎ 今年度については軽微な物損、自損事故が数件発生したが、負傷者の生じた大きな事故はなかった。
- ◎ 輸送の安全の確保を最優先という意識をより一層共有することが大切。
- ◎ 教育について、事象を参考にすることはもとより、添乗指導をより充実させる。
- ◎ デジタルタコグラフデータのより一層の活用。

## 目標について

- ◎ アルコール検出は0件であった。高性能アルコールチェッカーを導入した。引き続き飲酒・酒気帯び運転の撲滅に邁進していく。
- ◎ コンプライアンス意識の向上について、確実な一時停止、右左折時の徐行など重点キャンペーンを行い引き続き励行していく。

## 指示・計画について

- ◎ 事故防止員会の開催が少なかったため、翌年度は4半期に1回を目安に開催していきたい。
- ◎ ヒヤリハットの聞き取り件数を増やし、提出しやすい雰囲気づくりを目指す。
- ◎ 実技訓練の一層の充実。
- ◎ 各項目の具体的な数値設定等については、事故防止委員会にて達成可能な設定を行う。
- ◎ 健康診断に加え、脳ドックの、SASのスクリーニング検査の受診。

## 苦情について

- ◎ 今年度については苦情の発生がなかった。  
引き続き苦情が出ないように教育の充実を図るとともに、さらなるサービスの向上に努める。マナー講座への積極的な参加も推進する。